国立国会図書館　貧福両道中之記：3巻 207-348

ガラス使用

自叙

古語曰。生涯似旅と宜哉。門招の一里塚あまたバ歳越れ
問屋場あり。月日の飛肺川留に逢ひ。隙ゆく
馬士ち場に休む。年乃関取り手形いふ行バ。驛
路の給れ吸りけれども。後へ戻る悪老の坂。人間ゆくの五十三次。
旅籠れ錢の二筋なれ。福海道れ富庶なるも。貧海道の
折麼なるも。述ひ乃雲助酒代を祈ぐり。意馬心猿れ手
縄ゆるさバ忽胡麼の鍵れたるに終舟が謬屋し則
駄賃帳のはじめに志るれ

癸丑れ年九月春

山東 京傳

国立国会図書館　貧福両道中之記：3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　貧福両道中之記：3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　貧福両道中之記：3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　貧福両道中之記：3巻 207-348

ガラス使用

福海道

人乃一生道法り五十里

貧海道

国立国会図書館　貧福両道中之記：3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　　貧福両道中之記：3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　貧福両道中之記 : 3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　　貧福両道中之記 : 3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　　貧福両道中之記 : 3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　　貧福両道中之記：3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　　貧福両道中之記 : 3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　　貧福両道中之記：3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　貧福両道中之記：3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　　貧福両道中之記 : 3巻 207-348

ガラス使用

国立国会図書館　　貧福両道中之記 : 3巻 207-348

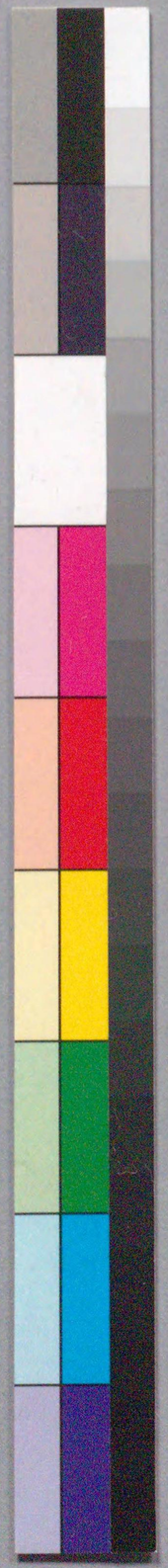
ガラス使用

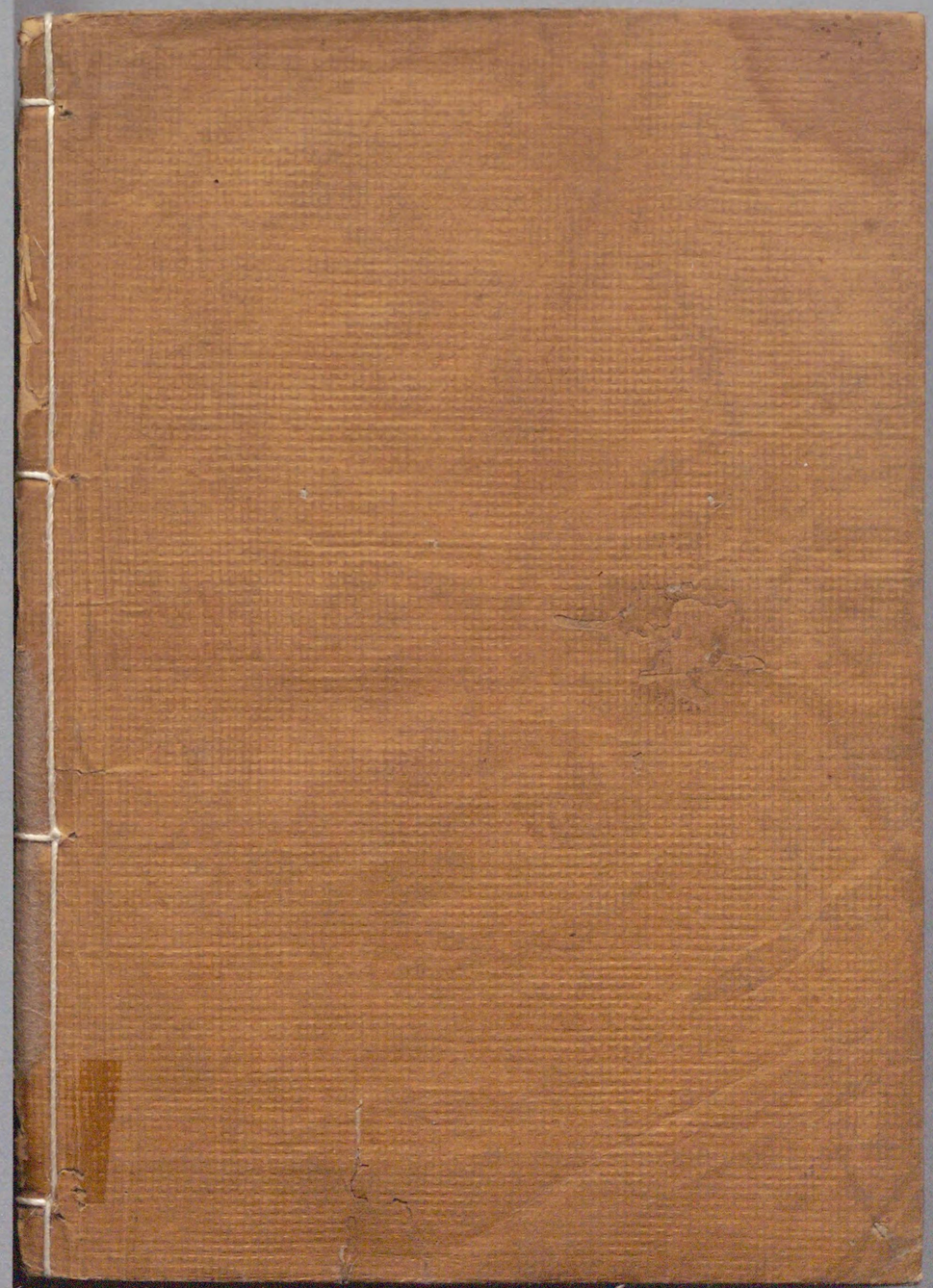
207
348

京傳作

国立国会図書館　貧福両道中之記 : 3巻 207-348

ガラス使用





国立国会図書館　　貧福両道中之記 : 3巻 207-348

ガラス使用